

眼科

医 長： 尾嶋 有美

「科の概要」

当院は地域の中核病院であるため、眼科領域全般に、救急疾患も含め多岐にわたる症例が県内外から集まってくる。2019年度は、外来患者のべ総数 9282 名、入院患者 474 名、手術件数 881 件であった。現在、4 名の眼科医師(うち日本眼科学会眼科専門医 2 名)が、診療と指導に当たっている。

「初期研修の基本的方針」

代表的な眼疾患について理解する。さらに、全身疾患や他科との関連について、理解を深める。

「研修予定」

月曜から金曜まで毎日、外来診療と手術があり、それぞれ、担当の指導医のもとに見学を行なう。また、随時、講義や検査の実践も行なう。

「経験可能な対象疾患・手技」

白内障、緑内障、糖尿病網膜症、未熟児網膜症、斜視弱視、眼圧検査 など

「眼科後期研修について」

眼科専攻を希望する場合、眼科初期研修は、初期研修期間の最後に選択するほうが望ましい。
当院は、岡山大学眼科専門研修プログラムの専門研修連携施設になっており、そのプログラムに基づいた研修を受け入れている。

「最後にひとこと」

眼科は、検査手技・手術手技とも専門性が高く、他科の医師には踏み入れがたい領域とも言える。しかし、全身疾患との関連も大きく、他科との連携も重要であり、時には、眼の所見から全身疾患が発見されることもある。この研修が、将来眼科以外の科に進んだ場合にも、役立つものになることを期待したい。